

ゆずり葉コミュニティの「まちづくり計画」の最重要課題、「防災」について

近年世界的に大規模災害が増え、日本各地で毎年大雨による川の氾濫、または土砂崩れにより、多くの災害が発生しています。大雨だけでなく、台風も巨大化しています。また、大規模地震がいつ発生するか分からない状況になっています。

そして南海トラフ地震については、過去のデータにより地震の発生周期を予測したデータがあります。

過去の大地震の周期は、684年白鳳地震、887年仁和地震、1096年永長地震、1099年康和地震、1361年正平地震、1498年明応地震、1605年慶長地震、1707年宝永地震、1854年安政地震、1944年昭和地震

が過去に発生しています。それによると、「南海トラフ地震」は過去100〜150年間で起こってきた大地震であり、前回の昭和地震（1946年）から70年以上が経っています。南海トラフ地震がいつ発生するかの予測については、政府の地震調査委員会は、今後30年以内で起こ

る確率は、「80%」と公表しています。もし、南海トラフ地震が発生した場合の規模は、M8〜9で、それに伴い想定される宝塚地域の地震規模は、震度6前後だそうです。（震度5弱固定されていない家具が動く。本棚の本が落ちる。震度5強のものにかまらなると歩けない。プロック塀が倒れる。震度6弱以下ではない。）

ゆずり葉コミュニティの「まちづくり計画」推進の中で、今後は最優先課題として、「防災」に関する情報の共有化を行ってまいります。

ゆずり葉だより7月1日第105号の3ページ目で「そのとき、あなたはこうする？」（防災マニュアルその1）を掲載しました。今月号では、その2として『自分の命は、自分で守る』ための災害に備えるマニュアルその2』を掲載いたします。

この中で、災害を「大地震」、「大雨」、「台風」に分け、身を守る対処法を記していますので、参考にして頂ければ幸いです。



自分の命は自分で守るための再確認（災害に備えるマニュアルその2）

★日頃の備え

- ★部屋の危険な箇所を知っておく。特に寝室等にはなるべく転倒しやすい家具は置かない。
★家具の固定方法等を工夫し備える。
★非常時持ち出し品がすぐに持ち出せるようにまとめておく。
★家族や親戚との安否確認の連絡方法をまとめておく。
★日頃のイベント、防災訓練に参加し住民間の交流を図り、互助、共助の意識を持つ。



★災害の種類と対応

Table with 3 columns: 地震発生の時, 大雨発生の時, 大型台風発生の時. Each column contains specific safety instructions for that disaster type.

★避難所について

- 公的避難所
(1) 逆瀬台小学校⇒山の上であり、がけ崩れ危険区域の隣接。市が判断する。
(2) 宝塚高校 ⇒山の上であり、がけ崩れ危険区域の隣接。県が判断する。
(3) 宝塚西高校 ⇒山の上であり、がけ崩れ危険区域の隣接。県が判断する。
(4) 光ガ丘中学校 ⇒避難所として開設。市が判断する。



申出避難所（市認定）

マンション集会室、各自治会館

★災害等緊急時避難対応（大規模地震の場合）

- ★エレベータには乗らない。既に乗っている方は、「行先階ボタンを全て押し、」最初に停止した階で降りる。
★各自、緊急事態の状況を冷静に判断し、行動する。慌てて行動し怪我をしないように。
★避難の原則は、「自分の身は自分で守る」。(自助)
★自助が出来たら、高齢者や体の不自由な方を、近所でチームを作り助け合う。(共助)
★住民は、まず最寄りの公園等、集合場所に集合し、安否確認をする。
★その後の対応は、自主防災会が判断し皆さんに指示を行う。
★建物が大丈夫で、事態が鎮静化（余震もおさまり）したら、各家庭に戻る。



★日頃の防災訓練等に参加し防災意識を持ち、最低限家庭内の備えを行いましょう。